令和８年３月１５日

第５回役員会

１　支部長挨拶

２　参加者自己紹介・近況報告

３　報告事項

(1) 令和８年選挙について

(2) 令和７年度の事業の総括について

(3) 令和８年度津軽海峡コンテストについて

(4) 令和７年度モールス講習会について

(5) 令和７年度の事業・会計報告について

４　協議事項

(1)北海道新幹線開業 10 周年記念特別局について

(2)令和８年度の事業

(3)令和８年度役員体制について

(4)その他

令和 8 年 JARL 選挙について

1　立候補の現状
(1)支部ごとの社員（支部長）は、現支部長以外の立候補者がなく、無投票当選が確定した。
(2)北海道地方本部区域ごとの社員は、定員 4 名に対し、6 名が立候補している。当支部の会員の立候補もあり。
(3)全国の区域内の理事の候補者は、定員 5 名に対し、10 名が立候補している。
　したがって、(2)と(3)において、渡島檜山支部会員が投票することになる。

2　選挙の方法
　今回の選挙より、電子投票となり、郵便で送られてくる URL ログイン ID、パスワードで入り、投票する仕組みになった。3 月末発送予定。4 月 18 日午前 9 時に締め切りとなる。

参考情報
　選挙に合わせて、正員で免許が切れている会員（多くはライフメンバー）に対しては、呼びかけ後、准員に変更となる。選挙権が消失する。

3　支部での取り組み
　会員がインターネット環境にあるか、なくても家族が使える状態になっているか正確に把握するすべはない。一つの指標として JARL の転送アドレスを持っていることが、「インターネット環境にあるのではないか」ということが推測できる。
　そこで、インターネット環境がないと思われる方に対し、ハガキなどを送り、連絡をいただければ、近くの会員の所に出向いて、また、来てもらって、投票していただくよう働きかけたいと思っている。
　その場合、述べるまでもないが、特定の候補者への呼びかけなどは行わない。
　基本的な私の考えとして、インターネットを活用してアマチュア無線を楽しむのは大いに結構であるが、インターネット環境がないと、不便を生じる運営

には疑問を感じている。今回の選挙についても、一度はハイブリッド（紙とインターネット）でやってみて、その効果を検証したうえで、今回のステップに進めるか判断してほしかった。

令和８年３月１４日

本年度の事業の総括

１　ロールコール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	SP	1	2	3
局数	23	21	13	21	20	17	22	19	22	25	28	25	21

20 局を超える参加者が続いている。キー局も役員内外からの協力もあった。参加者からの話題提供で、交流も広がった場面もあった。
継続事業としたい。

２　ホームページ
年度途中から切り替えた。内容については、概ね遅滞なく更新されていた。複数管理でチェック体制を強めたい。継続事業としたい。

３　メーリングリスト
OHS,OHB の 2 本立てで実施している。80 局程度を登録している。話題提供も積極的に行われている。他の支部では、実施されているところが、非常に少ないことがわかった。もめごとの元であるという考えもあるようだ。楽しいＭＬでありたい。継続事業としたい。

４　津軽海峡コンテスト
本年度、ログ提出者が多く、優勝にあと一歩であった。来年度はぜひ優勝トロフィーに海を渡ってもらいたい。継続事業とする。

５　フォックスハンティング大会
すでにご案内の通り、競技がたいへんだということで、来年度は競技を一度お休みにして懇親会のみとしたい。

６　北海道ハムフェア特別局
望洋塾、摩周丸での運用をすることができた。摩周丸では、支部役員、また、会員の協力のもと、運営をすることができた。観光に来ていただいた方に

体験運用をしてもらうなどの成果もあった。特別局の運用の機会があれば、対応していく。

７　非常通信伝達訓練

参加数の確保、基地局のオペレーターの研修などの課題も残された。函館市を始め、北斗市、七飯町との連携も継続していく。また救命講習会については、要望があれば進めていきたい。

８　マスメディアの利用

ＦＭいるか、函館新聞、北海道新聞などに積極的に働きかけた。大きな効果があったので、今後も積極的に活用し、アマチュア無線、支部事業のＰＲを行っていきたい。

9　蔦屋イベント

蔦屋書店の計らいにより、夏、冬と２回開催することができた。担当者の創造性を生かし、それぞれ特徴あるイベントになったと考える。また体験局も多くの方がマイクを握ることができた。このイベントを機会に免許取得に結びついた例もある。継続事業としたい。

10　支部報

支部や会員の活動を伝えることができた。全ての会員に行き渡るよう、郵送とダウンロードのハイブリッドとした。継続事業としたい。

11　支部大会

50 回記念として缶バッチを参加者に配付した。南極観測隊のお話、テーマ別の話し合いも良かった。また、「あげます、ください」も好評だったが、さらにやり方を工夫していく。

函館近郊とそれ以外を隔年で実施してきたが、２年続けて、北斗市農業振興センターを行った。このまま、函館近郊開催を軸に進めていきたい。令和８年度も昨年、一昨年と同じ場所を予定している。

12　ZOOM によるモールス講習会

14 名がエントリーし、12 名が現在講習を受けている。最終段階の交信パタンに入っている。次年度も継続事業としたいが、迷っているところはある。

13　北海道新幹線開業 10 周年特別局

別掲の通り、企画、運営は、相当のエネルギーを要する。それにより相当の効果を得られるのも事実である。

令和８年３月１５日

第２４回津軽海峡コンテストについて

１　昨年からの変更点

(1)参加部門を整理した

社団局の意義（複数で競技に臨む）を生かすため、社団局という枠を撤廃し、シングルオペとマルチオペという区分にした。

(2)支部対抗の得点について変更した

①それぞれの地域の JARL 会員から、非会員を含めてその地域で運用する局とした。

②支部対抗の 10 局以上の交信という制限を外し、１局でも参加した局には得点を与える。

③得点は、参加の基本点１点に区さえ、順位よる得点を加算したものとする。

２　その他

ボーナス局についての意見があり、渡島檜山支部及び青森県支部双方の役員会で検討したが、見送ることにした。

第24回津軽海峡コンテスト規約案

【開催日時】

2026年5月9日(土)18:00～10日(日)15:00まで

【主催】

一般社団法人日本アマチュア無線連盟　青森県支部

一般社団法人日本アマチュア無線連盟　渡島檜山支部

【参加資格】

日本国内で運用するアマチュア局

管内局:渡島・檜山地域内、または青森県内で運用する局

管外局:管内局以外の局

【運用場所の変更】

(管内局)

同一管内の中で移動可能

(管外局)

管内局以外の地域内の範囲で可能。

【使用周波数】

50／144／430／1200MHz帯の4バンド

・運用する周波数については、「JARL コンテスト使用周波数帯」に準ずる。

【参加部門及び種目・コードナンバー】

部門		種目		コードナンバー	
				管内局	管外局
電信電話	マルチオペ	マルチバンド		AMM	KMM
	シングルオペ	マルチバンド		ASM	KSM
	シングルオペ	シングルバンド	50MHz	AS50	KS50
			144MHz	AS144	KS144
			430MHz	AS430	KS430
			1200MHz	AS1200	KS1200

※社団局・個人局という区分をシングルオペとマルチオペ(個人局、社団局のいずれも実際に運用するオペレーターが1名か複数名か)で区別します。昨年とコードナンバーが変更となっておりますので、ご注意ください。

【交信対象】

（管内局） 日本国内で運用するアマチュア局

（管外局） 青森県内及び渡島檜山地域で運用するアマチュア局

※管内局・管外局とも、同一局との交信は、同一バンドでは任意の１交信のみ有効とする。バンドが異なる場合はそれぞれのバンドで任意の１交信のみ有効とする。

【呼出方法】

電話 「CQ 津軽海峡コンテスト」

電信 「CQ TK TEST」

【コンテストナンバー】

（管内での運用局） RS(T)＋市郡ナンバー※

（管外での運用局） RS(T)＋都府県ナンバー・地域ナンバー※

※市郡ナンバー及び都府県ナンバー・地域ナンバーは別表参照のこと。青森県（02）及び渡島地域（114）、檜山地域（113）の番号はこのコンテストでは使用しない（これらの県・地域では、別に定める市・郡ナンバーを使用するため）。

【禁止事項】

・シングルオペの2波以上の同時発射

・クロスバンド、クロスモード、レピーターを使用した交信

・マルチオペの同一バンド内における2波以上の同時発射、及び複数地点からの同時運用

【得点】

管内局 ① 津軽海峡を挟む渡島・檜山地域内の局と青森県内の局との交信 3点

② 同一管内局との交信 2点

③ ①及び②以外の交信 1点

管外局 ① 渡島檜山地域内の局及び青森県内の局との交信 1点

【マルチプライヤー】

管内局 ： 各バンドで交信した相手局の異なる市郡・都府県・地域等の数の合計

管外局 ： 各バンドで交信した相手局の異なる市郡の数

【総得点】

（各バンドで得た得点の和） × （各バンドで得たマルチプライヤーの和）

【表彰】

参加局数にかかわらず、各部門で管内局上位3位まで、管外局1位のみ表彰する。
集計の結果、同一得点の局においては、最終交信日時の早い局を上位とする。

渡島檜山支部、青森県支部対抗として、それぞれの支部管内において運用した局のうち、管内局各部門において、それぞれ1局以上交信してログ提出された局(会員・非会員問わず)に対し、基礎ポイント1点を付与する。また各部門の順位によるポイント(1位:10点、2位:8点、3位:6点、4位:4点、5位:3点)を加算し総得点を求め、優勝支部を決定する。優勝支部はそれぞれの支部大会で表彰する。

結果は、それぞれの支部のホームページ、及び JARL NEWS(入賞局)で公表する。

入賞者は青森県支部及び渡島檜山支部の支部大会にて表彰する。それ以外の方は郵送する。

【提出書類】

〇紙ログ・電子ログともに受け付ける。(電子ログ推奨)
〇紙ログは、JARL 制定のサマリーシート・ログシート、またはこれと同形式(A4 判)を利用すること。
〇電子ログは JARL の「電子ログ作成ツール」やコンテストログソフトの電子ログ作成機能の活用を奨励(JARL 制定の電子ログ ver2.1 を推奨)。
〇提出は E メール、郵送にて受付する。

① E メールでの提出

件名はコールサイン(例:JQ7ATB)とすること。提出先メールアドレスまでログデータを添付ファイルとしてではなく、本文に貼り付け送信すること。

② 郵送提出

紙ログについては全て郵送にて、青森県支部宛提出する。

〇紙ログ・電子ログ共にバンド毎に集計すること。
〇マルチオペの場合は、コンテスト中に運用した者のコールサイン・氏名・無線従事者資格を記入すること。

【締切】

2026年5月31日(日) (当日消印有効)

※E メールまたは郵送にて提出してください。

【ログ提出先】
〇E メール提出の場合
log-tk2026@jarl-aomori.sakura.ne.jp

〇郵送提出の場合
今年のコンテストは全て青森県支部へご提出ください。
〒031-0822 青森県八戸市大字白銀町字右新井田道 17 番地 13
岡田 竜也（JQ7ATB）

【その他】
QSL カードの発行については、同バンド、同一モード、同一運用地などの発行を控える、1 枚の QSL カードに複数の QSO を記載するなど、QSL ビューローに優しい配慮をお願いしたい。

【問い合わせ先】
各支部ホームページの「問い合わせ」または、各支部長までお問い合わせください。

（青森県支部）
U R L: https://jarl-aomori.sakura.ne.jp/
E メール: tk-test@jarl-aomori.sakura.ne.jp

（渡島檜山支部）
U R L: https://ohs.hokkaido.jp/ （昨年と URL が変更になっています）
E メール: jh8cbh@jarl.com

（別表）

・市郡ナンバー（管内）

[渡島地域]	函 館 市 0104	北 斗 市 0136	
	上 磯 郡 01021	亀 田 郡 01024	茅 部 郡 01025
	松 前 郡 01067	山 越 郡 01071	二 海 郡 01079
[檜山地域]	奥 尻 郡 01016	久 遠 郡 01028	瀬 棚 郡 01040
	爾 志 郡 01053	檜 山 郡 01059	
[青 森 県]	青 森 市 0201	弘 前 市 0202	八 戸 市 0203
	黒 石 市 0204	五所川原市 0205	十和田市 0206
	三 沢 市 0207	む つ 市 0208	つがる市 0209
	平 川 市 0210		
	上 北 郡 02001	北津軽郡 02002	三 戸 郡 02003
	下 北 郡 02004	中津軽郡 02005	西津軽郡 02006
	東津軽郡 02007	南津軽郡 02008	

・都府県・地域ナンバー（管外）

宗 谷 101	留 萌 102	上 川 103	オホーツク 104
空 知 105	石 狩 106	根 室 107	後 志 108
十 勝 109	釧 路 110	日 高 111	胆 振 112

※札幌市内は石狩地域の区域に含まれるものとします。

岩 手 県 03	秋 田 県 04	山 形 県 05	宮 城 県 06
福 島 県 07	新 潟 県 08	長 野 県 09	東 京 都 10
神奈川県 11	千 葉 県 12	埼 玉 県 13	茨 木 県 14
栃 木 県 15	群 馬 県 16	山 梨 県 17	静 岡 県 18
岐 阜 県 19	愛 知 県 20	三 重 県 21	京 都 府 22
滋 賀 県 23	奈 良 県 24	大 阪 府 25	和歌山県 26
兵 庫 県 27	富 山 県 28	福 井 県 29	石 川 県 30
岡 山 県 31	島 根 県 32	山 口 県 33	鳥 取 県 34
広 島 県 35	香 川 県 36	徳 島 県 37	愛 媛 県 38
高 知 県 39	福 岡 県 40	佐 賀 県 41	長 崎 県 42
熊 本 県 43	大 分 県 44	宮 崎 県 45	鹿児島県 46
沖 縄 県 47			
小 笠 原 48			

※コンテストナンバーでは大島、三宅、八丈は東京都(10)に含まれる。

※硫黄島、沖ノ鳥島、南鳥島は小笠原の区域に含まれる。

令和 8 年 3 月 15 日

モールス講習会について

１月 1 日から 90 回に渡って毎晩、20 時から開催している ZOOM を使ったモールス講習会。14 名がエントリーし、現在 12 名が参加している。

前半 15 分がアルファベット８及び９ＷＰＭ、後半がコールサイン等の聞き取りとしてきた。現在は、交信パタンの練習となっている。

講習後 20:30 から自主練習を行っている。参加者対講師、また、参加者対参加者の交信を予定している。

その後 7 メガでの交信となるわけだが、講師の方、週末は全て詰まっていて、なかなか時間を取れない状況である。

今後修了証を送付し、3 月 31 日に ZOOM 上で修了式を行う予定である。

令和 7 年度事業について

日付	内容	
4 月 5 日	定例ロールコール（キー局 JE8MXZ)参加 23 局	
4 月 6 日	第 1 回役員会	亀田交流プラザ小会議室
5 月 3 日	定例ロールコール（キー局 JA8VKV)参加 21 局	
5 月 10 日	第 23 回津軽海峡コンテスト（～11 日）	青森県支部との共催
6 月 7 日	定例ロールコール（キー局 JK8TYW)	
6 月 8 日	フォックスハンティング大会・懇親会	香雪園裏駐車場　会費 1300 円
6 月 20 日	北海道ハムフェア特別局運用（～29 日）	
6 月 21 日	望洋塾での公開運用	
6 月 22 日	社員総会（支部長出席）	
6 月 28 日	北海道コンテスト（～29 日）	北海道地方本部事業
6 月 28 日	北海道ハムフェア特別局公開運用（～29 日）	メモリアルシップ摩周丸
7 月 5 日	定例ロールコール(JA8VKV)	
7月 6 日	非常通信伝達訓練 10:00～ 同報告会 13:00 サンリフレ	基地局　函館市公民館（護国神舎近く）
7 月 6 日	第 2 回役員会　サンリフレ	非常通信伝達訓練反省会に引き続いて
7 月 8 日	救命講習会	
7 月 14 日	FM いるか出演（アマチュア無線の PR）	
7 月 14 日	FM いるか出演（アマチュア無線の PR）	
7 月 21 日	アマチュアガイダンス局運用～9 月 13 日	
8 月 2 日	定例ロールコール(JI8PLY)	
8 月 3 日	アマチュア無線の楽しさ大発見 トントントンツーツーツートントントンでつながる世界 アマチュア無線ってこんなに面白い	蔦屋書店
8 月 10、17 日	第四級アマチュア無線技士養成講習会支援	
8 月 13 日	渡島檜山支部報発行	
8 月 23 日	東京ハムフェア（～24 日）	

8 月 31 日	青少年のための科学の祭典	
9 月 6 日	定例ロールコール(JA8VKV)	
9 月 6 日	第 33 回渡島檜山支部コンテスト～7 日	
9 月 13 日	支部大会前夜祭	
9 月 14 日	第 50 回支部大会	
9 月 20 日	北海道ハムフェア～21 日	
9 月 28 日	JARL 青森県支部大会参加	
10 月 4 日	第 3 回役員会	サンリフレ小会議室　13:00
10 月4日	函館市防災フェスタ視察	緑の島
10 月 4 日	定例ロールコール(JH8EEO)	
10 月 5 日	第三級アマチュア無線技士養成講習会支援	亀田商工会
11 月 1 日	定例ロールコール(JM8OTS)	
12 月 6 日	定例ロールコール(JA8FHM)	
12 月 31 日	年末ロールコール(JA8DHR)	
1 月 1 日	ZOOM によるモールス講習会～3/31	
1 月 3 日	定例ロールコール（JA8VKV)	
1 月 17 日	第 4 回役員会 14:00　新年会 18:00　北海道新幹線開業 10 周年記念特別局開局式	畑野商店
1 月 11 日	アマチュア無線の散歩道　～電気の世界をのぞいてみよう～	蔦屋書店
2 月 7 日	定例ロールコール(JH8EEO)	
3 月	北海道新幹線特別局公開運用	新函館北斗駅周辺
3 月 7 日	定例ロールコール(JE8MXZ)	
3 月 15 日	第 5 回役員会	北斗市高齢者センター
3 月 17 日	文化講演会「日本初の非常通信」	函館大学
随時	ホームページの管理	

令和７年度会計決算について

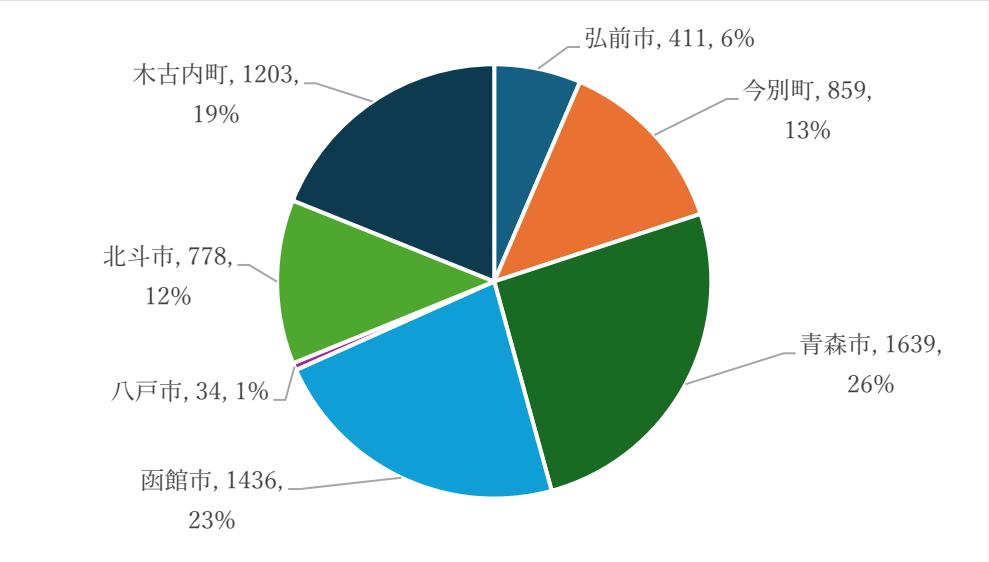
科目		累計額
前年度繰越高		120,307
収入	支部費	129,370
	賞典収入	0
	寄付金収入	133,000
	講習会収入	0
	受取利息	0
	雑収入	56,385
		0
		0
小計		439,062
支出	会議費	3,767
	催物費	241,639
	渉外費	0
	通信費	18,603
	交通費	0
	消耗品費	13,135
	事務印刷費	11,554
	コンテスト費	11,459
	賞典費	0
	講習会費	0
	非常通信費	7,526
	諸会費	0
	雑費	0
小計		307,683
次期繰越高		131,379

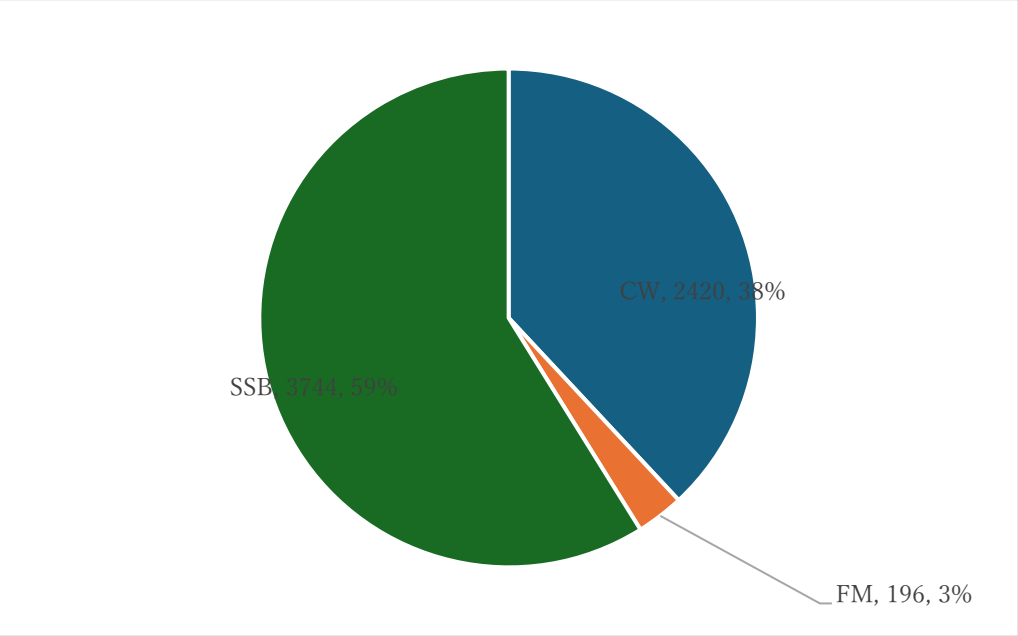
令和 8 年 3 月 13 日

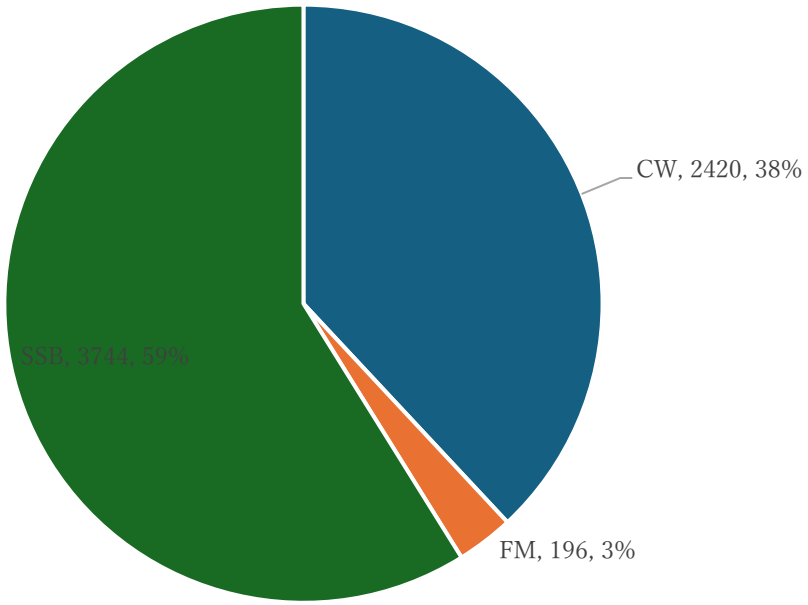
北海道新幹線開業 10 周年特別局について

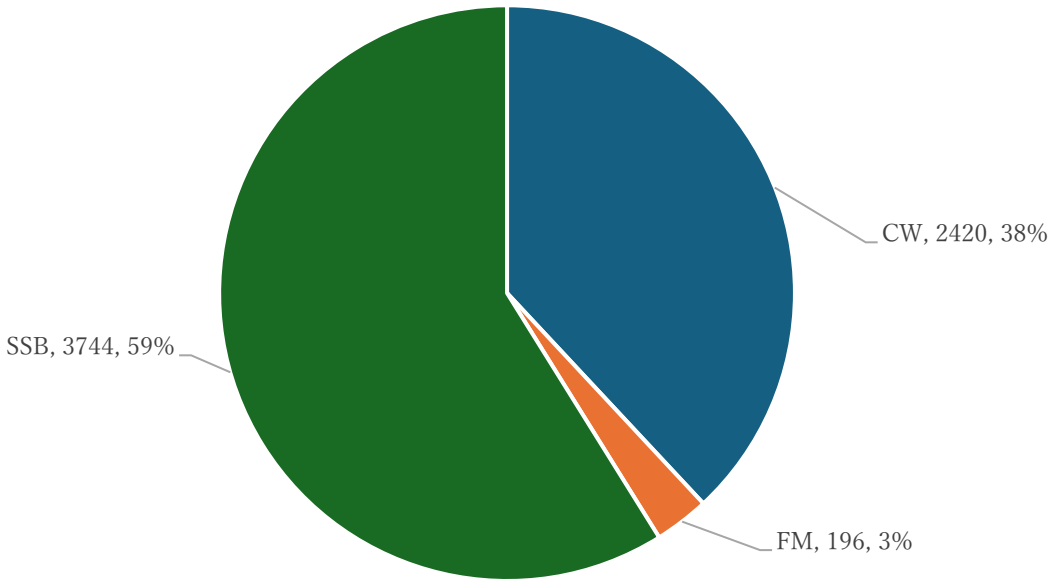
北海道新幹線開業 10 周年特別局は令和 8 年 1 月 17 日に開局し 3 月 31 日までの運用となっている。

1 現在までの特別局に関わる概要（3 月 13 日現在）
総交信局数 6360 局






CW, 2420, 38%
SSB, 3744, 59%
FM, 196, 3%


CW, 2420, 38%
SSB, 3744, 59%
FM, 196, 3%

アワードの発行状況

賞	発行数
S	66
A	7
B	30
C	44
合計	147

送付方法	発行数
ダウンロード	139
郵送	8
合計	147

寄付の状況
53 名よりご寄付をいただき、総計 111,400 円
（寄付の中には、アワード発行、移動への感謝の気持ちを添えて、遠隔地からの寄付も多い。）
支出は 65,247 円
（内容は、QSL1.7 万、缶バッチ 2.8 万、通信費、お土産、無線機送料、缶バッチなど）
残金 46,121 円

２　協議事項・連絡事項

(1)3 月 16 日（月）から 3 月 19 日（木）までの運用について（担当清水さん）

(2)リモート運用の現状について（担当村田さん）

(3) 予備日の運用について（担当佐々木）

3 月 27 日(金)　青森市柳川さん宅　JH7OYV JH8CBH

3 月 28 日(土)29 日(日) 今別町 JH7BVH JQ7ATB JH8CBH

今別の運用については、青森県岡田支部長がほろづきという宿泊施設と交渉し、日中も運用の許可をもらった。

(4) 閉局式について（担当佐々木）

3 月 22 日（日）新函館北斗駅前での運用終了後、新函館北斗駅周辺で会食をし、閉局式とする。この日にした理由は、東京や青森県からお客様が来る予定があること、また、支部会員においても、別の機会より、この日に全て実施した方が出向きやすいと考えたからである。

運営終了後午後 4 時すぎから、1 時間ほどを予定したい。場所はこれからあたる。いい場所ご存じでしたら教えてください。

(5) 寄付金の活用について

予定を上回る寄付をいただいた。3 月末で寄付は締め切ります。残金の活用として、木古内、北斗市の公開運用に関わる経費（昼食、交通費はなしで勘弁してください)、閉局式の会場費、アワードの赤字補填（郵送申請が予想以上に少なかった、プリント用紙、クリアホルダ、封筒)、FT-991 の修理（地方本部とも協議)、QSL 印刷発送費など必要経費を支出し、残金については、今回の今別運用の宿泊費（食費を除く）として支出し、0 決算としたい。最終決算は 4 月を回ることになる。

(6) 閉局後の措置

JARL への報告書の作成、QSL の発行、特別局のまとめ作成

以下、最低いずれか１回は役員の皆さんは参加してほしい。
(7), (8)に共通して体験 QSL を 20 枚ほど作ってほしい（　　）

(7) 木古内での公開運用について
期日：令和 8 年 3 月 20 日（金・祝）
時間：10：00～15：30 をめど　集合時刻 8：30
場所：木古内町みそぎの郷
　　道の駅の駐車場側の面の端っこあたり
準備するもの：無線機、アンテナなど運用に関わるもの一式
　パンフレット、キーホルダー、ＱＳＬカード
注：外なので防寒着をしっかりと
参加予定者(　　)(　　)(　　)(　　)(　　)

(8) 新函館北斗駅前の公開運用について
期日：令和 8 年 3 月 21 日（土）22 日（日）
時間：10：00～15：30 をめど
場所：新函館北斗駅近く北斗市市有地（詳細は未定）
準備するもの：木古内の準備物にプラスして、発電機、ドラム
注：外なので防寒着をしっかりと
参加予定者 21 日(　　)(　　)(　　)(　　)(　　)
　　22 日(　　)(　　)(　　)(　　)(　　)
　22 日は、イベント終了後、閉局式あり。
　北斗市から正式連絡が来ていないので確認する。

令和８年度 渡島檜山支部事業計画案

年	月	日	行事名称	記事
8	4	4	定期ロールコール	
8	4	5	第1回役員会	
8	5	3	定期ロールコール	
8	5	9	第24回津軽海峡コンテスト～10	
8	6	6	定期ロールコール	
8	6	14	フォックスハンティング大会・懇親会	
8	7	4	定期ロールコール	
8	7	5	非常通信伝達訓練	
8	7	5	第2回役員会	
8	7	21	ガイダンス局運用 ～9/13	
8	8	1	定期ロールコール	
8	8	2	アマチュア無線イベント	蔦屋書店
8	8	23	青少年のための科学の祭典	
8	8	26	支部報発行	
8	9	5	定期ロールコール	
8	9	5	第34回支部コンテスト～6	
8	9	12	支部大会前夜祭	
8	9	13	第51回渡島檜山支部大会	北斗市農業振興センター
8	10	3	定期ロールコール	
8	10	4	第3回役員会	
8	11	7	定期ロールコール	
8	12	5	定期ロールコール	
8	12	31	年越しロールコール	
9	1	1	ZOOMを使ったモールス講習会～3/31	
9	1	10	アマチュア無線イベント	蔦屋書店
9	1	2	定期ロールコール	
9	1	16	新年会	
9	1	16	第4回役員会	
9	2	6	定期ロールコール	
9	3	6	定期ロールコール	
9	3	21	第5回役員会	
随時			ホームページの管理	
随時			メーリングリストの管理	
随時			講習会の支援	

令和　8年　1月　17日

令 和 8 年 度 支 部 費 収 支 予 算 案

本部長	会計幹事
／	／

渡島檜山　支部
※入力してください。

単位：円

科	目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増　減　額	備　考
前期繰越高		注) 100,000	120,307	△ 20,307	
収入	支部費	179,920	129,370	50,550	
	賞典収入				
	寄付金収入	20,000	20,000	0	
	講習会収入				
	受取利息	5	5	0	
	雑収入	10,000	10,000	0	
小計		309,925	279,682	30,243	
支出	会議費	5,000	6,000	△ 1,000	
	催物費	110,000	60,000	50,000	
	渉外費	0	0	0	
	通信費	30,000	38,000	△ 8,000	支部会員への行事周知
	交通費	0	0	0	
	消耗品費	10,000	10,000	10,000	
	事務印刷費	15,000	5,000	50,000	
	コンテスト費	15,000	5,000	50,000	
	賞典費	0	0	0	
	講習会費	0	0	0	
	非常通信費	5,000	5,000	0	
	諸会費	0	15,000	△ 15,000	
	雑費	0	0	0	
小計		190,000	144,000	46,000	
次期繰越高		119,925	135,682	△ 15,757	

注）第3四半期（12月末）までの実績を考慮した上で、令和8年3月末時点での繰越金の見込金額をご記入ください。

令和８年３月15日

令和８年度支部体制について

方針
令和８年度の役員については、年度を一つの区切りとして、新たに公募していく。現役員についても、自動更新にせず、ご本人の了解と活動意志の確認の上、合意が上でお願いしていく。
　また、広く会員に呼びかけ、アマチュア無線を守る立場として、アマチュア無線の楽しさを多くの人に広げていくため、また、アマチュア無線の社会貢献を広げていくことを目指す方を確保していく。
　４月の第１回役員会をめどに、一般会員への公募、現役員の最終意思を確認していきたい。

　関連して、監査指導委員会の指導委員長（支部長は兼務できない）および監査指導委員も選出していく。監査指導委員には、ガイダンス局運営のため、第三級特殊無線技士（三陸特）を機会を見つけて取得できるよう働きかけたい。

　また、支部長の必要に応じて、相談役を置くことも考えたい。

　さらに、諸行事に積極的に参加が期待される方には、協力員として、名を連ねていただき、支部事業を盛り立てることに協力いただくよう働きかける。